

施策分析シート（令和元年度）

No1

施策名	まちの美化の推進		施策No	08-04	部課名	環境清掃部環境課	
					課長名	木下	内線 481
関連部課名	防災都市づくり部防災街づくり課、道路公園課、建築指導課、健康部生活衛生課、健康推進課						
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				

目的 「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」及びその他の関係法令に基づき、公害の発生源に対して必要な規制・指導等を行うとともに、まち全体の美化活動を推進し、区民の健康で安全かつ快適な生活を確保することを目的とする。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文	
		28年度	29年度	30年度		
①	周辺環境の快適さ	3.03	3.02	3.06	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？	
②						
③						
④						

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
①	発生源別苦情件数（件）	163	185	127	120	70	住民等から寄せられた苦情
②	啓発指導員による指導件数（件）	2,490	3,836	3,245	3,000	2,400	まちの環境美化マナーアップ業務委託実績（30年度より回数増）
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
行政費用	給与関係費	36,265	33,365	▲ 2,900	地方税	0	0	0	
	物件費	184,070	14,525	▲ 169,545	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	371	19	▲ 352	都支支出金	0	10,099	10,099	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	80	900	820	
	減価償却費	42	214	172	その他	0	1,086	1,086	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	80	12,085	12,005	
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,503	1,829	▲ 3,674	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 226,171	▲ 37,867	188,304	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	226,251	49,952	▲ 176,299	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 226,171	▲ 37,867	188,304	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 226,171	▲ 37,867	188,304		

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
流動資産	収入未済	0	0	0	還付未済金	1,748	1,691	▲ 57	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,748	1,691	▲ 57	
固定資産	有形固定資産	20,139	20,097	▲ 42	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	19,045	19,045	0	固定負債	29,731	20,257	▲ 9,474	
	建物	1,260	1,260	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	▲ 166	▲ 208	▲ 42	退職給与引当金	29,731	20,257	▲ 9,474	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	31,479	21,948	▲ 9,531	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 9,612	▲ 296	9,316	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 9,612	▲ 296	9,316	
その他の固定資産	1,728	1,555	▲ 173	負債及び正味財産の部合計	21,867	21,652	▲ 215		
資産の部合計	21,867	21,652	▲ 215						

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用では、給与関係費や物件費の割合が高くなっている。
- 物件費が大きく減少しているのは、29年度にはPCB廃棄物の処分を行ったのに対し、30年度は同処分を行わなかったことが大きな要因である。
- 行政収入のその他は、南千住喫煙所の設置に係る協賛金等である。
- 貸借対照表に計上されている有形固定資産は、南千住喫煙所に関するものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭は、いわゆる「典型7公害」と呼ばれ、法により規制されている。なかでも、一般生活から発生する最近の騒音・振動・悪臭問題は、生活に密着した新たな都市・生活型公害として位置付けることができる。これらの公害への対応は、解決までに時間を要するものも多い。</p> <p>○国民の健康意識の向上や東京都受動喫煙防止条例等の施行、オリンピック・パラリンピックに向けた喫煙対策の認識が高まる中で、喫煙マナーに関する区民の声が多くなっている。</p> <p>○区政世論調査の「今後区に力を入れて欲しい事業」に関する質問の回答では、「騒音・ポイ捨て対策等の良好な生活環境のための施策の充実」が上位に挙げられるようになっている。</p>
課題	<p>○アスベストが使用されている可能性のある建築物の解体が今後増加していくなか、改正大気汚染防止法で義務付けられたアスベストの使用に関する事前調査及びその調査結果の表示については、事業者等への周知がまだ十分ではない。</p> <p>○喫煙マナーの向上に関しては、啓発活動の充実とともに、分煙環境の整備を推進するため、閉鎖型を主とした指定喫煙場所の設置が必要であるが、道路法や建築基準法の制限があるため、その場所の確保が大きな課題となっている。</p>
今後の方向性	<p>○迷惑行為への対応や、都市・生活型公害、マンション建設工事等の反対に起因する苦情等については、環境清掃部だけでなく、防災都市づくり部、区民生活部、福祉部、健康部等と問題を共有化し、連携して解決を図っていく。大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の解決については、近隣区とも連携し、全都的な取組に繋げることが必要である。また、区民への積極的な情報提供を行っていく。</p> <p>○アスベスト対策については、防災都市づくり部と連携して、解体工事の実施情報を共有化していくとともに、現場のパトロール等を強化することにより、飛散防止に向けた事業者への指導等を充実させていく。</p> <p>○指定喫煙場所については、国や都の動向等も注視しつつ、引き続き適地の選定・確保に努めるとともに、他自治体の事例等も参考にしながら、様々な整備方法を検討していく。</p> <p>○ポイ捨て対策等については、「わがまちはわが手で美しく」のスローガンのもと、より多くの区民に美化活動等にご協力いただけるよう、楽しく意欲的に参加できる事業を展開していくとともに、若い世代への情報提供を強化するため、SNSを活用した情報発信も行っていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
元年度	2年度	
推進	推進	区民が安心して暮らせる環境を守るため、各部や関係機関と連携を図り、区民の健康と安全の確保に努めることは、基幹自治体である区の責務であり、本施策を継続する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
まちの環境美化推進事業	07-01-10	20,668	27,969	7,727	13,960	推進	推進	清潔で美しい荒川区をつくるためには、区民・事業者及び団体が相互に協力し合い、美化活動及び喫煙マナーの啓発に取り組むことが重要であるため、今後も推進する。
公害対策費	07-01-11	22,879	18,665	256	380	推進	推進	区民の健康と安全を守るため、公害の発生原因や、苦情の背景を分析し、関係部と連携して早急に課題解決を図る必要があるため、推進する。
特殊有害物質処分	07-01-12	182,704	3,317	178,186	204	継続	継続	PCB特別措置法に基づき、適切に管理し処分を行う事業であるため、継続して実施する。
合 計		226,251	49,951	186,169	14,544			